



輪島塗飯碗写  
赤木明登作



共に  
つくる



輪島塗碗木地師  
池下満雄  
86歳



昭和の初めから時間の  
止まった仕事場



輪島塗の土台

2024年1月1日 午後4時10分

令和6年能登半島地震発生  
マグニチュード7.6  
最大震度7



1月6日  
震災直後の外観



1月6日  
震災直後の外観



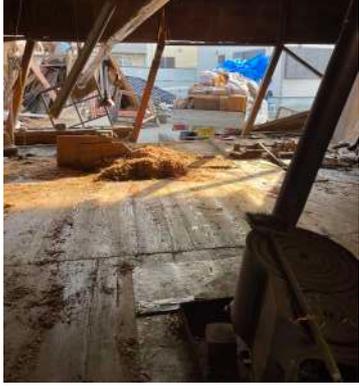
1月6日  
震災直後自宅外観



1月6日  
震災直後内部



1月28日  
木地材料運び出し



1月29日  
木地材料運び出し完了



1月29日  
工務店・建築家グループの視察



2月5日  
工務店・大工グループの視察



2月5日  
柱の断裂



2月5日  
構造の検討



2月14日  
再建の意思を確認



2月19日(発災より50日目)  
再建工事開始



2月19日  
内装解体



2月20日  
補強工事



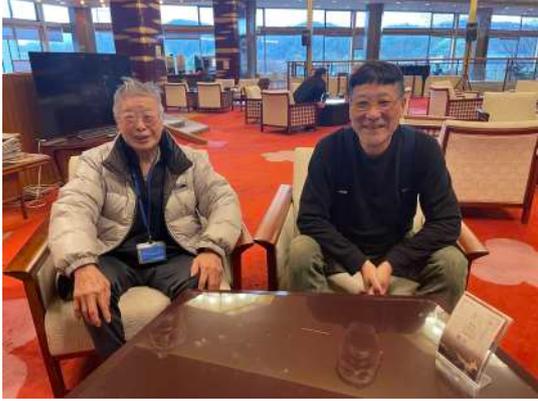
2月21日  
建て起こしアンカー



2月21日  
建て起こしワイインチ



2月21日(工事開始三日目)  
建て起こし完了



2月26日  
工事進捗の報告



2月26日  
屋根瓦撤去



2月26日  
ルーフィング工事



2月28日  
金物による耐震補強



3月1日  
新設基礎工事開始



3月2日  
基礎工事



3月3日  
コンクリート打設



3月11日  
基礎工事完了



3月11日  
大工工事開始



3月12日  
木地師現場訪問



3月12日  
明日への希望



3月12日  
轆轤設置の打ち合わせ



3月13日  
耐壁工事



3月13日  
人力で桁を上げる



3月15日  
屋根の葺き替え



3月18日  
新しい屋根の完成



3月18日  
外壁の補修



3月19日  
電気工事



3月19日  
内装工事



3月19日  
既存柱の補修



3月20日  
轆轤の修繕



3月22日  
建具工事



3月23日  
建具工事完了



3月24日  
床の新設工事



3月24日  
耐震金具施工



3月26日  
通電



3月26日  
床工事完了



3月26日  
轆轤の試運転



3月26日  
後継者育成のお願い



3月26日  
竣工  
(発災より86日・工事開始36日目)



3月26日  
竣工時の外観



3月26日  
引渡し



3月28日  
木地材料の搬入



3月28日  
木地道具の搬入



4月3日  
木地轆轤の調整



4月14日  
お花見



4月16日  
木地師さん2週間の入院



4月26日  
轆轤を3台に増設



5月2日  
弟子入り



5月2日  
鍛冶場復元



5月2日  
3人で仕事開始



5月8日  
轆轤の不調づく



5月8日  
新しい打ちん棒



5月9日  
仕事の再開



5月29日  
弟子の指導



5月29日  
初めて挽く悦び



6月5日  
仕事の本格化



6月5日  
順調



6月5日  
何も変わらない街



6月5日  
鍛冶場火入れ



6月5日  
鍛冶仕事開始



6月5日  
魂の入った仕事



6月20日  
一人前にするまで



6月26日  
仕事は楽しい



7月1日  
池下満雄 永眠



7月8日  
失ってはならないもの



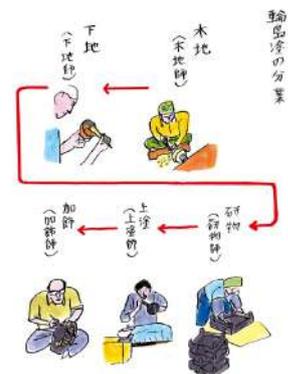
最期の仕事

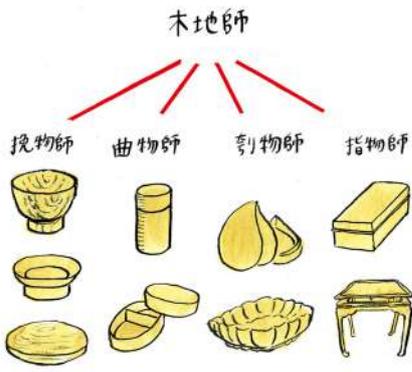
2025年9月  
株式会社木地屋設立

持続的な後継者育成に向けて

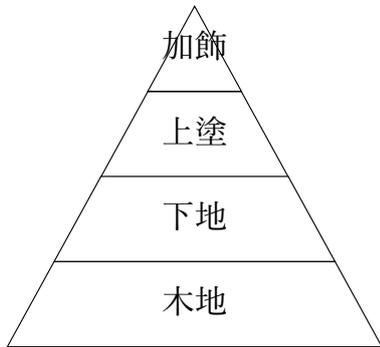


工藝的復興とは  
協働する輪島塗

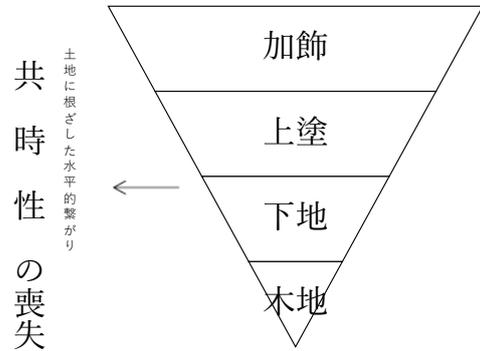




水平(共時)の協働



産地のピラミッド



共時性の喪失

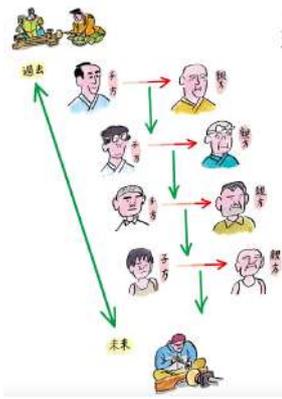
産地の崩壊へ



明治末  
祖先が仕入れた材料



受け継がれていく形

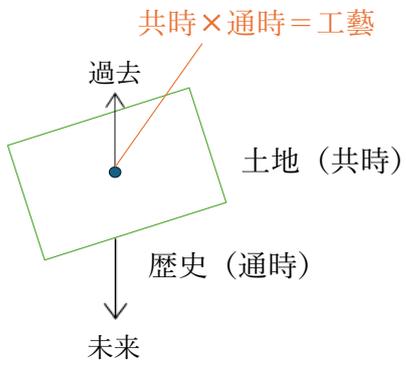


垂直(通時)の協働

通時性の喪失  
伝統に根ざした垂直的な繋がり

徒弟制度の崩壊

親方—親方—現役—弟子—弟子



今は亡き  
 数多の工人と共に

柳宗悦

水平と垂直の拡張



工藝的連続性を  
 取り戻すために

連続性の中にあるかけがえのないもの=交換不可能なもの

連続性から切断された個人=交換可能なもの

## 「工藝とは何か」

- ①風土性/土地に根ざしている
- ②精神性/世界の外部・奥行との接続
- ③座標性/共時的連続性と通時的連続性の結び目にある
- ④交換不可能性/連続性の中にあるかけがえのなさ



## 理念として

- 土地と人、人と人の繋りを基本にする（風土性）
- 伝統の繋りを基本にする（歴史性）
- かけがえのない建物と街をつくる（交換不可能性）
- 形の背景にある芯を大切にする（精神性）

## 具体的には

- 木造で耐震化、耐火化
- その土地の材料を使う
- その土地の職人がつくる
- その土地の職人・生産者の再生
- 自然と人が関わる営みの再生





茶寮 柚径  
半壊2棟と全壊1棟



拙考編集室  
一部損壊



柚径仮店舗工事  
2024年4月～9月



海辺の食堂 柚径  
2024年9月開店

新しい書店をつくる

職人の住まいをつくる



器をつくる、家をつくる、街をつくる！

ありがとうございました

塗師 赤木明登